

ふくしま夢つうしん



CONTENTS

ふくしまの魅力人

一般社団法人F-WORLD代表理事
平 学さん …2

ちょうどいい旅、ふくしまステイ。
～遊んでもいい～ …4

インフォメーション

ふくしまのつるし雛

ふくしまシティハーフマラソン2023… 8



東日本大震災をきっかけに、改めて福島県の豊かな自然の中で仕事をさせていただいていたことに気付いたと話す平学さん。屋外活動が制限されていた子どもたちのためにインドアパーク「CHANNEL SQUARE」(通称・チャンネルスク)を開設。2019年から遊びの中で生態系や水環境についても学べる観光体験型プログラム「CHANNEL JOURNEY (チャンネルジャーニー)」をスタート。多様なコンテンツを通して自然と人、地域がつながる循環を生み出し、ふくしまで遊ぶ面白さを提供している平さんをご紹介します。

Manabu Taira



吾妻山の爆発と山津波によってできた周囲約2kmの女沼でサップ体験。これまでに3歳から最高年齢で75歳の方が水上ウォーキングを楽しみました。来夏は、星空を眺めるナイトサップも予定しているとのこと。7月下旬から8月初旬ならホテルの乱舞も楽しめるそうです。



CHANNEL SQUARE ホームページ

一般社団法人F-WORLD代表理事

平学さん

福島県二本松市出身。子どもの頃から自然の恩恵によって楽しめるスポーツを活動の場としてきた。スノーボード、サーフ・ショップ「SHREDDER (シュレダー)」を運営する傍ら、東日本大震災を機に子どもたちが遊べるインドアパーク「CHANNEL SQUARE (チャンネルスクエア)」を開設。同時に運営元の「一般社団法人F-WORLD (エフワールド)」を立ち上げ代表理事に就任。福島市土湯温泉町を拠点に地域全体がつながり合い、活性化していくきっかけを提供するさまざまな事業に精力的に取り組む。

自然と人がつながり 地域が活気で満ちていく 好循環を生み出したい



ウォーキングを楽しめます。

冬は原生林の中を冒険する 特別スタイルの雪遊びを提供

冬は女沼に続く道路が閉鎖になるため、毎年5月から11月中旬まで沼畔の一角を借りて、サップやカヤック、バーベキュー、サウナを組み合わせた体験プランで、その素晴らしさを発信しています。「晩秋になると工作物をすべて撤去し、自然に戻して、翌年またお世話になるというサイクルで活動しています」。女沼は、深い森が二酸化炭素を吸収し、地球温暖化の防止に貢献していることなども含め、大自然のエネルギーを全身で感じたり、SDGsを意識しな



約5万5,000人が利用した
インドアパーク「チャンネルスク」

2015年から2018年まで、福島市内にインドアパーク「CHANNEL SQUARE」(以下、チャンネルスクエア)を開設していた時は、思いっきり体を動かしたい子どもやティーンエイジャーら、約5万5,000人が利用したそうです。「当時、インドアパークに遊びに来ていた子どもたちの中から、スケートボードやスラックラインのトップ選手が生まれています」と話す平さん。

現在、チャンネルスクエアでは、アスリートを目指す子どもたちを支援する「夢ミライサポートプロジェクト」、業務提携している二本松市のインドア複合施設「スカイピアあたたらアクティブパーク」(2019年)へのスタッフ派遣、マイクロボスを自然体験活動・施設PRやツ



ツアーの1つ「雪山ホワイトフィールド体験」

アーにも活用できるようカスタムし、オフグリッドを目指すコンセプトバス「モバイルバスステーション」、そして女沼を軸にしたアウトドア観光体験型プログラム「CHANNEL JOURNEY (以下、チャンネルジャーニー)」と、大きく4つの事業を展開しています。

女沼の大自然に抱かれながら サップで水上ウォーキング

平さんは、チャンネルスクエアの運営元、一般社団法人F-WORLDの代表理事を務めています。中心市街地から車で40分程度に広がる大自然に一目ぼれし、昨秋から拠点を福島市南矢野目から土湯温泉町の古

民家「女沼の四季工房」に移しました。「土湯温泉観光協会さんにお声掛けいただき2020年に、『土湯アクション20125』のビジネスインフルエンサーとして提携したことがきっかけです。そこから『チャンネルジャーニー』が生まれました」。子どもの頃から今まで、自然の恩恵の中でさまざまなスポーツを楽しんでいる平さんは、女沼の魅力をこう話します。「吾妻山の噴火でできた沼で、広さは東京ドーム2個分くらい。透明な水面が、日によってエメラルドグリーンに見えることも。たくさんいる昆虫や魚に、やって来た子どもたちは大興奮。沼は水が動かないので、サップにはもってこい。空や夏

山、紅葉を映す水鏡を眺めながら水上

がら過ごせる場所としても高いポテンシャルを持っていると感じているとのこと。「自然は人間がつくり出せないもの。ツアーを通してその面白さと奥深さを提供しながら、人と自然がつながり、地域が活気で満ちていく好循環を生み出せたらと思っています」と話す平さん。

チャンネルジャーニーの冬のツアーは、土湯畔温泉郷鷲倉温泉に場所を移し、年明け1月から特別スタイルが始まります。雪で覆われた原生林の中をスノーモービルや雪板(スノーサーフィン)を使って冒険に出発!雪山体験の後は、秘湯入浴が待っていますよ。

気軽にアウトドアが楽しめる！

キャンプ場

福島市の豊かな自然を生かしたキャンプ場。
非日常を感じられる空間で、心も体もリフレッシュしませんか？

FOME BASE / ホームベース

摺上川が流れ、川のせせらぎや滝の音を聴きながら自然を感じられるカジュアルなキャンプ場。手ぶらで楽しめるキャンプやバーベキュー、昨今注目度の高いグランピングもおしゃれな空間で楽しむことができます。その他、大人から子どもまで楽しめる豊富なアクティビティや、福島市の自然を五感で感じるイベントも企画しています。

【所】 福島市飯坂町茂庭字中川原6
【TEL】 024-596-1500



詳しくはこちらから



東京からたった90分で行ける福島市。そこには、自然・アクティビティ・グルメ・温泉・文化など、都会にはない魅力がいっぱい。遊んでもいい、食べてもいい、癒されてもいい。あなたにちょうどいい楽しみがきっと見つかります。

今回は、くだもの狩りから未知との遭遇まで…バラエティに富んだ「遊んでもいい。」をご紹介。あなたの気分によっての遊びが見つかるはず。好奇心のまま、ふくしまを自由に楽しんでみませんか？



ちょうどいい旅、ふくしまステイ。についてはこちらから



ちょうどいい旅、ふくしまステイ。

突然、旅に行きたくなくなった。

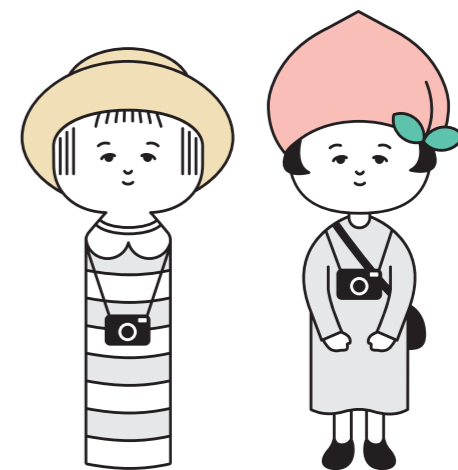
早起きはしたくない。気ままで自由な旅にしたい。

大自然で遊ぶのもいい、地元の名物料理を食べるのもいい。

のんびりと温泉で癒されるのもいい。

どれも、「ちょうどいい旅、ふくしまステイ。」

東京から90分。都市と田舎のちょうどいい旅先。



かんたファーム 農園リゾート ワイルドキャンプ場

大自然に囲まれた限界集落を生かして作られた農園リゾート。広々と開放的なオールフリーサイトで、野性的でサバイバル感覚のキャンプを楽しむことができます。豊富なアクティビティも魅力的。秘境駅までのハイキングや四輪バギー体験、本格的な農業体験、山菜の収穫、テントサウナやドラム缶風呂など季節ごとの貴重な体験もできます。

【所】 福島市大笹生字大平63
【TEL】 090-7064-9903



詳しくはこちらから



伝統工芸に触れる！

土湯こけし絵付け体験

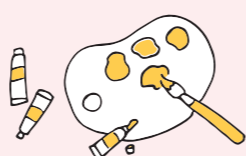
南西部の「四季の里」では、園内にある工芸館で「土湯こけし」の絵付け体験ができます。土湯温泉発祥で、遠刈田、鳴子と並ぶ日本三大こけしと言われている土湯こけし。手回しロク口を使い、土湯こけしの特徴である蛇の目、くじら目、まる鼻（長鼻）、ロク口線を描き入れ、自分だけのオリジナルこけしを作ってみませんか。

四季の里

【所】 福島市荒井字上鷲西1-1
【TEL】 024-593-0101
体験のご予約は
工芸館 (024-593-0105) へ



四季の里
ホームページ



初夏から初冬まで楽しめる！ くだもの狩り

フルーツライン*の愛称で呼ばれる区間には、くだもの畑が広がり、観光果樹園や直売所が数多く並びます。6月中旬からサクラランボ狩りや直売が始まり、モモ、ナシ、ブドウ、リンゴと、約半年に渡ってくだもの旬が続きます。ぜひ、新鮮なくだものを堪能してください。



*福島市の西側に広がる吾妻連峰の麓を走る、約14kmにわたる県道5号線。



くだもの狩りの
情報はこちらから



第3弾 遊んでもいい



果樹園へのお出かけは レンタサイクルで！

フルーツライン沿いに立地する道の駅ふくしまでは、手軽で便利なEバイクのレンタルが可能！道の駅ふくしまにお立ち寄りの際は、あわせて周辺の果樹園を巡るサイクリングがおすすめです。



道の駅ふくしま
ホームページ



ちょうどいい旅、ふくしまステイ。

国内初、「UFO研究所」がある飯野町で ミステリアスなロマンを満喫しよう



福島市飯野町は、昔からUFO[※]の目撃談が多いミステリアスなロマンが楽しめるスポットです。「UFOの里」として地域おこしに取り組み始めて30年。2021年には、UFOの里いいの聖地化プロジェクトが立ち上がり、国際未確認飛行物体研究所を開設しました。プロジェクトリーダーの阿曾隆一さんのご協力のもと、その魅力をご紹介します。

福島市飯野町で開催された「UFOフェスティバル」。仮装パレードなどユニークな催しで多くの来場者を楽しませました。 ※1 未確認飛行物体。 unidentified flying objectの頭文字



UFOふれあい館

UFOに関連する資料展示のほか3Dバーチャルシアターで立体映像による不思議体験、展望風呂や物産館などを備えた多目的施設。
[所] 福島市飯野町青木字小手神森1-299
[TEL] 024-562-2002
開館時間/午前9時～午後5時
閉館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日～1月3日
アクセス/JR福島駅からバスで30分、下車徒歩5分(駐車場有り)
入館料/一般 個人:400円 団体(20人以上):350円
小中学生 個人:200円 団体:150円



「UFOの里いいの聖地化プロジェクト」リーダー
阿曾 隆一 さん
福島市飯野町生まれ。同町商工会「いいの街なか活性化委員会」が、2021年に立ち上げた「UFOの里いいの聖地化プロジェクト」のプロジェクトリーダー。中央設備株式会社代表取締役

UFOファンが全国から訪れる神秘の山「千貫森」

福島市の南東部にある飯野町は、福島市と合併する前から数多くUFOが目撃されてきました。地域のシンボル、千貫森が標高462メートルのきれいな円すい形をしていて、古代エジプトのピラミッドに似ていたり、町内に点在している巨石群が規則的に並んでいたりなど、UFOファンが全国から訪れるミステリアスなロマンを感じられるスポットとしても知られています。私自身は、

興味を持って空を見上げるような少年ではありませんでしたが見えちゃった。飯野町は、そういうところなんです。

国内唯一、UFOに特化した施設がある飯野町に研究所誕生

「UFOの里いいの聖地化プロジェクト」(以下、プロジェクト)は、私たちの親世代の取り組みを再び、という思いがきっかけになり、一昨年にスタートしました。約30年前、飯野町を「UFOの里」として町を活性化していこうと地元の商工会青年部が立ち上がりました。UFOふれあい館がオープンしたのもその頃です。千貫森や商店街に宇宙人の石像を設置したり、「UFOの里」という名前のバス停をつくったり、さまざまな活動を続ける中で、UFOの里と言えば飯野町というふうに認識されていきました。

時は流れ、UFOふれあい館が30周年を迎える2022年の前年。もう一度、今度は私たちの手でUFOの里を盛り上げて行こうということになりました。日本中で、UFOに特化した施設を持っているのは飯野町だけです。本気で遊ぼうと決めました。

2022年11月、国内初「UFOフェスティバル」開催

「UFOの日」にちなみ2021年6月24日にプロジェクトを始動させ、UFOふれあい館内に「国際未確認飛行物体研究所」(通称・UFO研究所)を開所しました。初代所長を、ミステリー雑誌「月刊ムー」編集長の三上丈晴さんが引き受けてくださいました。

現在、研究所では、目撃情報の収集と分析・公開、UFOとの遭遇に向けた研究調査・挑戦、ミステリアスな山「千貫森」の謎の調査・研究、さらにUFO餃子やUFOエンフアントガリークなどのUFO関連商品の開発販売を、地域の活性化につなげていこうと奮闘中です。

今、感じている手応えとして、開所前年に比べて入館者が増え、2022年度は2倍になりそうな勢いです。UFOの目撃情報も多く、国内外合わせて1年間で420件寄せられました。中には「昔、見た」という手描きのUFOのイラストを郵送してくださいました。高年齢の方も「私も見てます」という地元の方がたくさんいることも分かりました。寄せられた情報は分析し、研究所の会員(現

在、400人)のホームページでも公開しています。

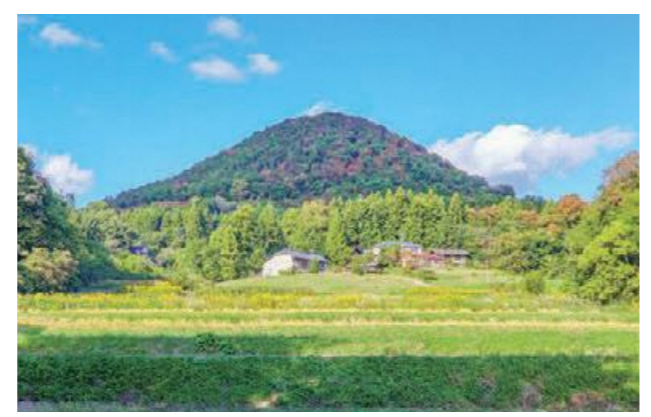
本気で遊ぶということでは、さまざまなイベントも企画して開催しています。昨年は6月に研究所開設1年活動報告会、三上所長と行く千貫森ミステリーツアー、飯野のうまいものを市を開催しました。11月には、UFOふれあい館の開館30周年を記念して日本初の「UFOフェスティバル」を開催しました。宇宙人仮装パレードや、三上所長と千貫森を舞台にした映画を撮影された日本ホラー映画界の巨匠・中田秀夫監督のトークイベント、UFOを呼ぶためのサーチライトを期間限定で千貫森の頂上で点灯したりしました。

これからの展望としては、ロズウェルUFO博物館&研究所(アメリカ)、国立宇宙研究センター(フランス)があるので、飯野町と世界3大拠点みたいななればと、夢を膨らませているところです。温泉やくだもの、花見山で知られる福島市の魅力に、UFOの里も加えてもらって、飯野町が内包している神秘とロマンを一人でも多くの方と分かち合いたいと思っています。福島市にお出掛けの際は、UFOの里にもぜひ立ち寄りください。

国際未確認飛行物体研究所

日本におけるUFO研究の第一人者・荒井欣一氏が設立した「日本空飛ぶ円盤研究会」の意思を受け継ぎ、世界中の未確認飛行物体目撃情報の調査、UFOとの遭遇への挑戦、UFOの基地ともいわれる千貫森の謎を解明するために設立されました。UFOに関心のある勇気ある研究所会員も募集中!

国際未確認飛行物体研究所ホームページ



ピラミッドのような形をした千貫森。謎の飛行物体の目撃情報など不思議な噂が飛び交う。

ふくしまのつるし雛

一針一針心を込めて作られたつるし雛。愛らしい雛飾りを眺めに、ぜひお出掛けください。

旧堀切邸 飯坂婦人会 第13回 つるし雛かざり

飯坂婦人会が干支を中心としたテーマで製作したつるし雛かざりを展示。

と き / 2月17日(金)～3月5日(日)

午前9時～午後8時

ところ / 旧堀切邸 十間蔵 (飯坂町字東滝ノ町16)



※会場は常時換気しています。暖かい服装でお越しください。

主催 飯坂婦人会
福島市観光開発株式会社
問 旧堀切邸
TEL 024-542-8188

第14回 飯野つるし雛まつり

商店街など、約30カ所にかわいらしいつるし雛を展示。

と き / 2月23日(木・祝)～3月4日(土)

午前10時～午後4時

ところ / 飯野商店街通り
飯野学習センター(飯野町字境川19-2)
いいの交流館(飯野町字後川3-1)

※詳しくは、実行委員会のホームページをご覧ください。

主催 問 飯野つるし雛まつり
実行委員会
TEL 024-562-2115



詳しくは
コチラから！



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、手指消毒、検温にご協力ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催期間などに変更が生じる場合があります。



ふくしまシティハーフマラソン2023

福島市の新たな「スポーツの祭典」が幕開け！「On Your Marks～未来へ走れ、ふくしま～」をスローガンに、歴史・文化、豊かな自然など、福島市の魅力を満喫できるコースを設定しました。ランナーの他、ボランティア、ランナー応援隊も募集中！ぜひご参加ください！

ランナー
で参加の方は
コチラ！



ボランティア・
ランナー応援隊
で参加の方は
コチラ！



問 福島シティハーフマラソン実行委員会 (市スポーツ振興公社内) TEL 024-539-5500

5月21日(日)
午前8時 start!
参加者募集!!

先着申込順
募集期間

インターネットエントリー：
3月5日(日)まで
郵便振替：2月24日(金)まで



種目やコースなど、
詳しくは大会ホームページから！

市民フォト・ふくしま夢つうしん

ふくしまチャンネル

2023年1月1日発行

2023年1月号 No.51

fukushimacity

福島市



編集発行 福島市役所 広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1
TEL 024-525-3710 FAX 024-536-9828
E-mail: kouhou@mail.city.fukushima.fukushima.jp

夢通信
バックナンバーは
市ホームページで！



表紙紹介

福島の自然を遊び尽くす

CHANNEL SQUAREが行う観光体験型プログラムのひとつ「雪山ホワイトフィールド体験(驚倉)」。四季ごとにさまざまな表情を見せる福島の、豊かな自然を生かしたアクティビティを楽しんでみてはいかがでしょうか。

※次号は2023年4月発行予定です。